

UJSJP 优势日本语



突破 160 高分 全真模拟题

新日本语能力测试N1备考官方标准对策集

编著◎赵英英 邢莉 郭孟

一线辅导名师内部讲义首次公开！

本书原稿历经2010~2011三次真题检验，
多处命中真题，铁证如山！

2010年畅销图书《N2突破160高分》的姊妹篇！

日籍专家朗读+N1真题语速=身临考场其境
新日本语能力测试N1备考官方标准对策集
突破160高分



MP3

全真模拟题

大连理工大学出版社

大连理工大学电子音像出版社
ISBN 978-11-9887-0/A·08

UISJP 优势日本语

突破 160 高分

全真模拟题

新日本语能力测试N1备考官方标准对策集

编著◎赵英英 邢 莉 郭 孟

一线辅导名师内部讲义首次公开！

本书原稿历经2010~2011三次真题检验，
多处命中真题，铁证如山！

2010年畅销图书《N2突破160高分》的姊妹篇！

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力测试 N1 备考官方标准对策集·突破 160
高分全真模拟题 / 赵英英, 邢莉, 郭孟编著. — 大连 :
大连理工大学出版社, 2011. 8

ISBN 978-7-5611-6281-1

I. ①新… II. ①赵… ②邢… ③郭… III. ①日语—
水平考试—习题集 IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 115360 号

大连理工大学出版社出版

地址: 大连市软件园路 80 号 邮政编码: 116023

发行: 0411-84708842 传真: 0411-84701466 邮购: 0411-84703636

E-mail: dutp@dutp.cn URL: http://www.dutp.cn

大连美跃彩色印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸: 185mm×260mm

印张: 16

字数: 586 千字

附件: 光盘 1 张

印数: 1~5000

2011 年 8 月第 1 版

2011 年 8 月第 1 次印刷

责任编辑: 宋锦绣

责任校对: 李双 杨洋

封面设计: 张虎

ISBN 978-7-5611-6281-1

定 价: 32.00 元

前 言

本书主要面向新日本语能力测试N1的考生。

N1考试由四个部分构成，分别是：文字·词汇、语法、读解和听力。文字·词汇和语法又统称为“语言知识”。在试卷设置上，把听力以外的前三部分放在一张试卷上，答题时间是110分钟；听力另有一张试卷，答题时间为60分钟。

本书是以考试组织单位“日本国际交流基金会”和“日本国际教育支援协会”所编的《新日本语能力测试指南》为框架，以最新的官方样题为标准，以2010年7月、12月和2011年7月连续三次新日本语能力考试真题为指导，在精准把握上述命题依据的基础上进行编写。

本书共有12套模拟题，每套模拟题严格按照N1考试的顺序、题型进行编写，并配有完整的参考答案。本书听力材料均配有录音文本（光盘PDF文档），方便考生对照研读。

本书特色如下：

1. 精研变革 直击考点

本书针对新大纲的要求，对以下变革的要点部分做了重点设计：“语言知识”中的“文字·词汇”部分，总题目数量有所减少，难度相对有所增加，题型设计上更侧重于对词语运用能力的考查；“语言知识”中的“语法”部分，新增了两个新题型“排序题型”和“完形填空”。“读解”部分新增了“综合理解”和“情报检索”题型，所应用的资料题材丰富，贴近真题选材倾向。“听解”部分考题形式上有很大的变化，题目涉及各个场景下的多种听力题型，尤其是新增加了“即时应答”题型，考查点设计上更注重对实际应用能力的考查。

2. 一线名师 准确预测

本书的编者均为具有丰富教学经验的一线考级辅导名师，执笔中均力求在真度和难度上与官方样题及2010年7月、2010年12月、2011年7月三次新日本语能力考试真题相一致，科学准确预测新题型，做到高真度、高信度。考生在习作本书的过程中，可以全面熟悉新题型，快速培养应对新题型的能力，从而顺利通过考试。

3. 海量套题 充分演练

本书汇集了12套高真度的模拟题，题量大、真度高，可以充分满足考生考前模拟练习的需求。这些模拟题在编写的过程中，充分研究了2010年7月、2010年12月、2011年7月三次新日本语能力考试真题的出题倾向，更好地把握了未来真题的命题趋势，真正做到精品编写，是广大考生备战新日本语能力测试N1的优秀辅导教材。

本书由优势日本语学校一线授课名师编写，其中“读解”部分由赵英英老师编写，“听解”部分由邢莉老师编写，“语言知识”部分由郭孟老师编写。

由于水平所限，书中难免有不妥之处，敬请各位指正。

优势日本语学校 编写组

www.usjp.com.cn

2011年7月

目 录

言語知識・読解 聴解 正解

模擬テスト(一).....	1	17	233
模擬テスト(二).....	21	38	234
模擬テスト(三).....	41	57	235
模擬テスト(四).....	61	77	237
模擬テスト(五).....	80	96	238
模擬テスト(六).....	99	114	239
模擬テスト(七).....	118	133	241
模擬テスト(八).....	137	153	242
模擬テスト(九).....	157	172	243
模擬テスト(十).....	175	191	245
模擬テスト(十一).....	195	211	246
模擬テスト(十二).....	215	230	247

模擬テスト(一)

〈言語知識・読解〉(時間:110分) $30/45 = 40$

問題1 _____ の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 1 以前は優美な彫刻と鮮やかな色彩を誇る寺だったが、今ではすっかり朽ち果ててしまった。
 1 しょうこく 2 しゅうこく 3 ちょうこく 4 ちゅうこく
- 2 科学が万能だというのは一種の迷信であり、無条件に科学を信仰する時代はもはや終わりを告げた。
 1 まいしん 2 べいしん 3 めいしん 4 はいしん
- 3 テニスの練習の合間に、二人はベンチに座って夕闇の迫る街角をしばらく眺めていた。
 1 ゆうぐれ 2 ゆぐれ 3 ゆうやみ 4 ゆやみ
- 4 最近の車はだれでも手軽に運転できるようになった。
 1 てがるに 2 てかるに 3 しゅげいに 4 しゅけいに
- 5 その仕事は、採用時の審査が厳しいにもかかわらず応募する人が多い。
 1 のうぼう 2 おうぼう 3 おうぼ 4 のうぼ
- 6 自らの政治的腐敗を省みなければならなかった。
 1 みずから 2 かれら 3 われら 4 もっぱら

問題2 ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 7 ホテルのレストランへ行くなら、やはりスーツを着て行くのが()だろう。
 1 非難 2 無難 3 避難 4 苦難
- 8 この専門()は比較的新しく、まだあまり研究が進んでいない。
 1 領土 2 領事 3 領域 4 領地
- 9 佐藤さんは()だから、いつも期限に遅れて、人に迷惑をかける。
 1 ドライ 2 ルーズ 3 ユニーク 4 オープン
- 10 博士論文を()のに3年間かかった。
 1 仕切る 2 仕入れる 3 仕上げる 4 仕掛ける
- 11 能力はあるのだが、まだ経験が()ため、うまくいかないことが多い。
 1 いやしい 2 とぼしい 3 あさましい 4 たくましい

- 12 年を取ったせいか、最近体力が（ ）きたようです。
 1 おとろえて 2 なまけて 3 みだれて 4 まぎれて
- 13 お互に大人なんだから、感情的にならずに、（ ）話し合いを進めましょう。
 1 理屈的に 2 理解的に 3 理知的に 4 理性的に

問題3 _____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 14 ひっこしの荷物が多くて苦労しました。
 1 反転 2 移転 3 回転 4 自転
- 15 団体生活をするためにはきまりを守ることが大切だ。
 1 罰則 2 規則 3 鉄則 4 約束
- 16 物事はしまいまできちんとやりなさい。
 1 最短 2 最初 3 最近 4 最後
- 17 授業中におしゃべりしないでください。
 1 冗談 2 会話 3 会談 4 会合
- 18 わたしたち夫婦は、年を取った母の面倒を見ることになった。
 1 世話をかける 2 世話になる 3 世話をする 4 世話を受ける
- 19 彼女が好きだが、気持ちをどう表現したらいいか分からない。
 1 あらわれたら 2 あわせたら 3 つたえたら 4 みせたら

問題4 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 20 なんとか
 1 難しい試験だったが、なんとか合格することができた。
 2 なんとかいいことがありそうな気がする。
 3 あの人はなんとか好きになれない。
 4 近ごろなんとか胃の調子がおかしい。

- 21 極端
 1 極端なダイエットはからだに悪い。
 2 あの人は、大好きか大嫌いかで中間がない。極端的だ。
 3 南極と北極は地球の極端だ。
 4 極端ぶって過激なことばかりする。

- 22 ぼつぼつ
 1 きょうは一日何もしないでぼつぼつした。
 2 ぼつぼつ映画が始まった。

3 日曜日の公園ではぼつぼつと人が散歩していた。

4 ぼつぼつ始めましょう。

23 とぐ

1 くもっためがねをはずして、ハンカチでといだ。

2 うちの包丁はといであるからよく切れる。

3 からだをといで筋肉をつけた。

4 感覚がにぶらないように、いつもといでおかないといけない。

24 わざわざ

1 となりの席の子どもがわざわざ私の足を踏んだ。

2 電話がないので、わざわざと公衆電話で電話をする。

3 あんなつまらない本をわざわざ買うことはない。

4 友だちはわざわざ近所まで来たのに、寄ってくれなかつた。

25 よほど

1 寝坊して会によほど遅刻した。

2 電気がなかつたころの暮らしはよほど想像できない。

3 この店のお菓子はよほどおいしいからすぐ売り切れてしまう。

4 この画家の場合、新しい作品より若いときの作品のほうがよほどおもしろい。

問題5 次の文の（ ）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

26 子ども（ ）知っているようなことを大人の私が知らなかつたのは、恥ずかしい。

1 なら 2 だから 3 だけが 4 でさえ

27 弟は、酒が飲めない（ ）ぜんぜん飲めないわけではない。

1 といつても 2 としたら 3 どころか 4 というより

28 もし、私の言ったことに何か失礼があつた（ ）、深くおわびします。

1 につけ 2 としたら 3 にせよ 4 としても

29 この国の経済（ ）、今後も注目していく必要がある。

1 にあたっては 2 にかけては 3 に関しては 4 に際しては

30 女性の管理職が増えたといわれているが、まだほんの1割程度（ ）。

1 に限らない 2 に達している 3 にすぎない 4 に及んでいる

31 待ちに待つた夏休みがやつと始まった（ ）、子どもたちはみんなうれしそうだ。

1 として 2 にあたって 3 とあって 4 にして

32 子どもたちは、机は（ ） 、ピアノにまで上がって遊んでいた。

- 1 あげく 2 きわみ 3 かぎり 4 おろか

33 早く大きくなつて両親の手助けがしたい。幼い（ ）少年はそう思った。

- 1 ものを 2 わけで 3 ながらも 4 ことに

34 その話は他の人にはおもしろくても、私には退屈（ ）ものだった。

- 1 極まつて 2 極めて 3 極める 4 極まる

35 試験開始のベルが鳴る（ ） 、学生たちはいっせいに書き始めた。

- 1 やいなや 2 とたんに 3 ばかりに 4 が最後

問題6 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(問題例)

あそこで _____ ★ _____ は山田さんです。

- 1 テレビ 2 見ている 3 を 4 人

(解答の仕方)

1. 正しい文はこうです。

あそこで _____ ★ _____ は山田さんです。

- 1 テレビ 3 を 2 見ている 4 人

2. ★ に入る番号を解答用紙にマークします。

(解答用紙)

(例)	①	●	③	④
-----	---	---	---	---

36 これだけの話ですが、妻は 2 3 ★ 4 作れません。

- 1 てんぷら 2 さしみは 3 おろか 4 さえ

37 彼の成績は、 2 3 ★ 4 なレベルに達している。

- 1 に足る 2 その大学に 3 推薦する 4 十分

38 先日、聞く 2 1 ★ 3 を聞かされた。

- 1 ほどの 2 に耐えない 3 演奏 4 ひどい

39 人によっては 3 2 ★ 4 簡単に運ぶことができる。

- 1 ある 2 から 3 100キロ 4 荷物を

40 あなたの答え 4 3 1★ 2 ものでもない。

- 1 考え 2 ない 3 よっては 4 いかんに

問題7 次の文章を読んで、[41]から[45]の中に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

50代以上の結婚経験者に「離婚を考えたことは」と尋ねると、「ある」の回答は、女性は6割、男性は3割。差は歴然です。

東北地方の60代女性は娘が中学で不登校になったとき、[41]自分の育て方を頭ごなしに否定されて離婚を考えました。娘の考えを[42]聞こうとしても、夫の威圧的な態度に娘は沈黙。娘が結婚して夫と2人になった今も、「離婚」の二文字が頭を離れません。

関東地方の50代女性は「友人の体験談を聞き、我が家と比べて決断の参考にしています」。3人の友人が離婚、1人が別居中です。

実際に離婚経験がある人は7%でした。経済的自立や家族との関係、夫婦の情などが[43]になるそうです。

関東地方に住む60代の社長夫人は、自分を部下のように扱う夫に愛想を[44]8年。でも、自分の年金は月6万円。夫には年金分割を拒まれてしまいました。数年前に大手術をし、健康の不安も抱えていて、「とても離婚できる経済状況ではありません」。

埼玉県川越市の女性(55歳)は「お互いに嫌な思いもいっぱいしたし、我慢もしましたけど、とりあえずいろいろあった問題は片づき、子どもも自立した。お互いに年を取ったから今さら離婚[45]、波風立てず、このまま助け合って老後を生きようと…」。

(「朝日新聞」2009年11月20日付による)

- | | | | |
|-------------|---------|----------|--------|
| [41] ✓ 夫に | 2 夫が | 3 娘に | 4 娘が |
| [42] 1 きっぱり | 2 ことごとく | 3 ずうずうしく | ✓ じっくり |
| [43] ✓ 影 | 2 床 | 3 壁 | 4 天井 |
| [44] 1 尽かして | 2 尽きて | 3 尽きられ | ✓ 尽かされ |
| [45] 1 といって | 2 ならば | ✓ でもないし | 4 だという |

問題8 次の(1)から(4)の文章を読んで、後の問い合わせに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

自然と芸術との関係は、決して単純ではない。一般に、「自然を写し、再現させるもの」と考えられている美術——特に絵画——の場合でさえ、そうだった。それというのも、ひとつには人間がすでに「自然の一部」であり、しかも「自然に向って対立し、それを解釈する立場にいる存在」だからで、「自然」は決してあらゆる人間に同じものとして立ち現われるのでない。そうである以上、「自然を再現させる」とか「自然を忠実に写す」とかいっても、それはそれを行う芸術家の「自然」をどうみるかということとり離しては、あり得ないわけです。

(吉田秀和『人生を深く愉しむために』海竜社による)

46 この文章から、自然と絵画との関係はどのようなものだと考えられるか。

- 1 自然の一部として人間の前に立ち現われるものが絵画である。
- 2 あらゆる自然を絵画は忠実に写し、再現させることができる。
- 3 同じ自然を描いても、見る人によって異なって見えるのが絵画である。
- 4 絵画は描く人が自分も含んだ自然を解釈することに基づいている。

(2)

今日ほど「労働」が見失われている時代はあるまい。働くなかで仕事や人に教えられ、あるいは人と力を合わせて働くこと、また働いた成果で社会と結ばれていることを実感し、それらによって自分の働きの意味と生きていることの意義を確かめられる、そういうことから私たちはしばらく無縁^(注)でいる。「労働の喜び」といった表現がひどく古めかしく感じられるほど、「労働」は私たちの生活から遠ざかっている。

(森清『ハイテク社会と労働』岩波新書による)

(注)無縁: 関係がないこと

47 「労働」が見失われている時代とは、どのような時代か。

- 1 労働する場が減って、失業が増えている時代×
- 2 古くから社会にある仕事が忘れられている時代×
- 3 労働することの意義が実感できなくなった時代
- 4 個人の楽しい生活を仕事とは分けて考える時代

(3)

コンピュータは他の機械とは本質的にちがっている。普通の機械はそれぞれ固有の目的のために作られていて、その他の目的のためには使えない。これに対して、コンピュータは計算をするだけでなく、他のいろいろな機械の働きを模擬する^(注)ことができる。そこでコンピュータは人間の知的活動を模擬することができるのでないかと考えて、これを人工知能研究と名づけ、人間への挑戦が始まった。

(長尾真『人工知能と人間』岩波新書による)

(注)模擬する(やや特別な使い方): まねをする

48 人間への挑戦というのは、どのような意味か。

- 1 人間の能力とどちらが優れているか競争すること
- 2 機械を支配する人間から自立する戦いをすること
- 3 人間が持つ知能の働きに近づけようすること
- 4 他の機械の働きも入れて人間の能力以上になること

(4)

「人はその血管と同じに年をとる」という名言があります。もちろん、人間だけではなく、いろいろな動物にもあてはまります。この言葉は、血管というものが、老化を考えるさい、いかに大事であるかを物語っています。体の各器官がどんなに若々しくとも、血管に障害があったら、その器官に栄養物も酸素も届けられず、また、老廃物^(注1)はたまる一方になってしまいます。鉄道や運送会社、それに清掃業者がストライキをおこしたとしたならば、都市は瀕死^(注2)状態になることでしょう。血管の役割はそれほど重大なのです。

(香原志勢『老いを考える』ほるぷ出版による)

(注1) 老廃物：動物の体内で古くなり、いらなくなつたもの

(注2) 瀕死：今にも死にそうなこと

49 文の中の「人」と「血管」の関係に当たるものはどうか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 動物と各器官 | 2 栄養物と老廃物 |
| 3 鉄道と清掃業者 | 4 都市と運送会社 |

問題9 次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問い合わせに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

私たち人間にとて悪臭^(注1)というのは危険信号の一つである。もしも、食べ物が腐っているのに悪臭を感じなかつたら、大丈夫だと思って食べて、食中毒を起こして死ぬかもしれない。私たちは、鼻という検出器^(注2)を使って危険かどうかの判断をしている。

悪臭があるかないかは、私たち人間の判断であって、この判断が他の生物にもそのまま当てはまるわけではない。腐った物を屋外に出すと、すぐにキンバエ^(注3)が集まつてくるように、腐った物はキンバエには、おそらく良い香りのものと思われる。キンバエにとって良い臭いとか悪い臭いとか、おいしい食べ物とかまずい食べ物とかという判断は、明らかに人間とは異なる。

微生物^(注4)の中にも、人間と同じようなものをエサにするものもいるし、人間が嫌うものをエサにするものもいる。まずいエサとかおいしいエサという判断は、生物それぞれで異なるというごく常識的なことが、案外理解されていないようである。このために、悪臭物をエサにする微生物は、特殊で変な微生物だという誤解が生まれる。また、悪臭物ばかり与えたのでは、微生物が弱ってしまうのではないかというように考える人が出てきたりする。

物が腐ると悪臭が出るが、ここで出た悪臭は、ある種の微生物には重要なエサであつて、この悪臭物でその微生物が育つ。これは、日常的な自然界の営みであり、この営みを担う微生物が自然界に広く分布している。

物質の循環にかかわる多くの生物の作用があつて始めて、人間は生命を維持することができる所以である。しかし、日常生活においては、その一部しか認識する機会がないために、自然環境について誤解している人が多いようである。このことがさまざまな環境問題の理解の妨げになっているように思える。

(松永是・倉根隆一郎「おもしろい環境汚染浄化のはなし」による)

(注1) 悪臭：いやな臭い

(注2) 検出器：検査して危険なものなどを見つけ出す器具

(注3) キンバエ：腐った肉などに飛んで来る小さい虫

(注4) 微生物：顕微鏡で拡大しなければ見えない非常に小さい生物

50 人間にとて悪臭を感じ取ることの意味は何か。

- ① 食べ物の安全性を判断できること
- 2 検出器の正確さを判断できること
- 3 その食べ物が好みに合うかどうか判断できること
- 4 その食べ物を食べると死ぬかどうか判断できること

51 悪臭物をエサにする微生物が特殊で変だと誤解されるのはなぜか。

- 1 微生物がなぜ悪臭物に集まるか、ということが解明されていないから
- 2 微生物は常に人間とは違うものを好む、ということが認識されていないから
- ③ 人間と微生物では好むものの判断が異なる、ということが理解されていないから
- 4 人間と微生物では持っている検出器が異なる、ということが明らかになっていないからX

52 「その」が指す内容は次のうちのどれか。

- 1 人間は臭いを感じ取ることで生命を維持できるということ
- ② 人間は多くの生物の働きによって生きていられるということ
- 3 自然界には悪臭を好む微生物が広く分布しているということ
- 4 微生物には物が腐って発生した悪臭物がエサになるということ

(2)

人称代名詞われ（私）の複数はわれわれ（私たち）だと通常考えられている。多くの場合それでいいのだし、実際にもそういうふうに使われている。けれども、われわれがいつも必ずわれの複数といえるかとなると、そうとばかりはいえないだろう。自分を含んだ複数の人間をひとまとめにしてわれわれというとき、ことわるまでもなくそのわれわれのなかで自分と他の人々とは、なんらかの意味で親和的な^(注1)間柄にある。たとえばグルー

普、学校、会社、党派、家、国など、性格や規模こそちがえ、一つの同じ集団に属していて、心の、あるいは利害の上で互いに結びついていることが前提になっているわけだ。しかしこの場合、自分と他の人々とは、それぞれの集団の外部に対しては同一の集団に属するものとして結びつきをもっているにしても、それぞれの集団内部を考えてみれば、①自分と他の人々との間柄が対立を含んでいないとはいえない。自分にとって近い集団から遠い集団へ、自分を含む小さな集団から大きな集団へという方向で、一般的には集団内部の自他の対立は大きいが、たとえ小さな身近かな集団のなかでも自他の対立はなくなるわけではない。それどころか、ときには近親憎悪と呼ばれるような、近い間柄であることがかえって激しい憎しみを相互に惹き起こす^(注2)ことさえあるのだ。このようなわけで、集団内部の自他の対立を問題にし出すと、②われわれということは簡単にはいえなくなる。もっといえば、ありえないことになる。つまり、（③）、そこにあるのはつねにただ自己と他者たちだ、ということになるのである。

(中村雄二郎「哲学の現在」による)

(注1) 親和的な～：互いに親しい～

(注2) 惹き起こす：生じさせる

53 ①「自分と他の人々との間柄が対立を含んでいないとはいえない」という筆者の考え方から言えることはどれか。

- 1 他の集団に属する人間とは、親和的な間柄になることは難しい。
 - 2 同じ利害で結びついていない人間同士には、対立関係が生じやすい。
 - 3 身近な関係以外の人間には、激しい憎しみを持たないとはいえない。
- ✓ 4 同一の集団にいる身近な人間との間でも、親和的になるとは限らない。

54 ②「われわれということは簡単にはいえなくなる」のはなぜか。

- 1 一つの集団の中で、心や利害の上で互いに結びついているという関係はあまりないから
 - 2 一つの集団の中で、複数の人間が互いに憎しみを持っているということは考えられないから
 - 3 どんなに共通点の多い集団でも、その構成員が全く同じ考え方を持つことは許されていないから
- ✓ 4 どんなに共通点の多い集団でも、複数の人間が全く同じ考え方を持っていることはありえないから

55 (③)に入る最も適当な文はどれか。

- | | |
|-----------------|------------------|
| ✓ 1 われには複数はない | 2 われは単純ではない |
| 3 われはわれわれと同義である | 4 われとわれわれは対立している |

(3)

カナダの作曲家シェーファーは、音環境をサウンドスケープという視点から捉えることを提唱し^(注1)、運動を展開している。サウンドスケープは「音の風景」と訳すことができるだろうが、これは、都市空間をはじめ、あらゆる環境の中で不愉快な雑音が我々の生活を害するようになった現在、音環境を含めて生活のすべての面で快適性を高めたいという社会的ニーズ^(注2)の表れであろう。

日常生活を妨げる音をできるだけ防止するために、その場・時間・状況に応じて適切な環境音楽が流されている。環境音楽は、快適性を音環境の中に取り入れたものといえる。現代の文明は騒音をますます増大させているが、同時に最新の技術によって発生騒音を少なくする努力も大いになされるだろう。

しかしながら、我々は生活の中で、環境音楽と考えてかえって不必要的音や音楽を流しすぎていないだろうか。いや、たれ流しているといつてもいいぐらいだ。ドイツの大指揮家カール・ベームは、筆者も何回となく来日の折に聴いているが、ある時東京のデパートのエレベーターに乗り、そこに流れていたドイツの古典音楽を聞いて非常に憤慨したそうである。いとも^(注3)安易にクラシック音楽が東京の町中に氾濫していることにベームは業を煮やした^(注4)のだろう。遠山一行さんのような批評家がいう、「クラシック音楽は他者との出会い」という厳しいストイックな見方^(注5)と現実は大きく違ってしまい、我々はあまりにイージーに^(注6)音楽を氾濫させていると筆者は思う。そして、それが非常に商業主義と結びついていることが多いと筆者は危惧している^(注7)のである。

(江口文陽・尾形圭子・須藤賢一『生活環境論』による)

(注1) 提唱(ていしょう)する：自分の意見や考えを人々に示して呼びかける

(注2) ニーズ：必要性

(注3) いとも：大変、非常に

(注4) 業(ごう)を煮やす：思うように行かず、腹を立てる

(注5) ストイックな：欲求や楽しみをあえて抑える様子

(注6) イージーに：安易に

(注7) 危惧(きぐ)する：心配する

【56】本文によると、環境音楽とはどのようなものか。

- ✓ 日常生活の不快な音をさえぎるために流されているもの
 2 豊かな自然に囲まれた環境の中で聞くことができるもの
 3 筆者が日常生活の中で安易に聞かされているもの
 4 現代文明が作り出した環境の中から自然に生じたもの

【57】「厳しいストイックな見方」とはどのような見方と考えられるか。

- 1 外では音楽を全く流さず、他人が不愉快にならないよう配慮する。
 ✓ クラシック音楽を聴くには、ふさわしい時と場を選ぶ必要がある。

3 増大しつつある騒音は、種々の音楽を流すことで緩和するべきだ。

4 日常生活を妨げる騒音は、社会にあってはならないので排除する。

58 筆者はこの文章を通して何を批判しようとしているのか。

✓ 「クラシック音楽は他者との出会い」という見方が広がること

2 日常生活の騒音を減少させようとするより環境音楽でそれを隠そうとすること

3 商業主義と結びついて安易に音楽を町中に氾濫させること

4 環境音楽を流しすぎてかえって町中の騒音を増大させること

問題10 次の文章を読んで、後の問い合わせに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

小説が人間の生きる現実の上に成り立つものである以上、その生と死を絶対的に縛る＜時間＞から解き放たれることはあり得ない。というより、より広大な、より豊潤な＜空間＞に向けて飛び立ち、漂い出すことを夢みながら、常に腰につけた＜時間＞の皮肉な命綱によってその世界を守られ、限られ、狭められているのが、小説なるものの運命なのではあるまいか。（中略）

小説がそのように＜時間＞に固く結びつけられているとはいっても、小説の中で生きて動いているのは日めくりカレンダーや柱時計ではなく、登場人物としての人間達である。もとより^(注1)、現実生活においても＜時間＞が見えるわけではない。見えない＜時間＞をなんとか目に映るものにしようと努力して、人間は暦や時計を生んで来たのだろう。（①）、小説の中で時の推移^(注2)を見るものとするのは、暦や時計それ自身ではなく、溜息をつきながら暦をめくり、不安げな表情で壁の時計を見あげる、あれこれの人物達に他ならない。極言すれば^(注3)、ここでは人間そのものが、ある意味では暦であり時計であるともいえる。とはいっても、人間を単なる＜時間＞の函数^(注4)として考えようとするのではない。むしろ、人間の存在とは、そのままごく自然に＜時間＞の表現でもあるという一事を述べたかったに過ぎない。

たとえば、こんなことがあるだろう。——1軒の家で暮す一つの家族を描く時、幼い子供達がいる。その父親と母親がいる。この親子は時間の連鎖^(注5)の中で生れて来たものである。つまり、父親となる男性と母親となる女性がいたから、はじめて子供達が生れて来たわけである。よくいわれるところの核家族とはこの2世代によって構成される家族のことだ。そこでは、いわば②原因と結果が最短距離で向き合い、最小単位の家族を構成しているといえる。

その家族に、更に上の世代、祖父なり祖母なりが加わるとする。3世代の家族が生れると、これは核家族とは微妙な違いを見せることになる。親と子の関係は二重のものとなり、単純な原因・結果の環によって祖父母と孫達とをつなげるのはむずかしい。つまり、核家族に比して^(注6)こちらでは親と子の関係が相対化してくる。ある家族にとって必ずしも必要なものとはいえないこの年寄りの存在は、しかし一方では当の^(注7)家族に